



KAAT 神奈川芸術劇場芸術監督トーク

シライズ カフェ
『SHIRAI's CAFE』 Vol.4

レポート

2018年6月2日(土) 15:00~

KAAT 神奈川芸術劇場 1F アトリウム

芸術監督：白井 晃(演出家・俳優)

ゲスト：朝比奈尚行(音楽家・演出家・俳優)

KAAT 神奈川芸術劇場芸術監督の白井晃が、ゆかりのある音楽家をゲストに迎え、音楽、演劇、劇場について語る

「SHIRAI's CAFE」。第4回のゲストは、2019年2月にKAATで『コンサート・リハーサル』を上演する時々自動の主宰・朝比奈尚行さん。朝比奈さんは音楽・ダンス・演劇・映像・美術などの枠を超え、また融合させることで独自のパフォーマンスを生み出す時々自動の全作品の構成・演出を手がけ、出演しています。白井が演出した2009年のエドワード・ボンド『リア』の音楽を担当した

ほか、俳優としてもテリー・ジョンソン作『ヒステリア』(2007)などで共演。ユーモアにあふれ、あっけらかんとしたトークは、ある時は白井を苦笑いさせたり、ある時は感心させたりと刺激的なひと時となりました。なお今回は、「オープン・シアター2018」の一環で行われました。



白井がゲストの朝比奈さんを迎え入れ、カンパニーの座長、音楽家、演出家、俳優、放送作家など多岐にわたる仕事ぶりを紹介しつつ、「ご自分では何者だと思います?」と聞くと「なんでもないもの。no bodyです」という答え。続けて「俳優としては崩壊しました。僕は再現性のない俳優だと言われるんです。白井さんが演出と出演もされた『ヒステリア』では自転車で転ぶシーンがあるんですけど、転ぶ場所もタイミングも毎回違ってしまいうんです。ご迷惑おかけしました」とお客様の笑いを誘いました。白井の「朝比奈さんの歌声が好きなんです、しびれます」というリクエストに応え、本日の1曲目「君好き20年」を披露。ユーモラスなイメージとは違った、高音でパンチのある歌声がアトリウムに響き渡ります。

白井と朝比奈さんの出会いは、青山円形劇場での「青山演劇フェスティバル」に、白井が遊●機械/全自動シアターとして、朝比奈さんが時々自動として参加した1988年にさかのぼります。「演劇なのか?音楽なのか?パフォーマンスなのか?方法は違うけれど、さまざまなジャンルを超えた作品づくりに興味をもっていました」と白井。「全自動」、「時々自動」と、ともにオートマティスムという意味が込められた劇団名の話をつきかけに、朝比奈さんが1920年代半ばにフランスで起きた芸術運動シュール

リアリズムの流れを組む“詩の自動書記”のようなパフォーマンスができないか、と当時抱いていた思いを語りました。この日用意された楽曲は、時々自動というカンパニーが緩やかに形づくられていった80年代に書かれた曲ばかりだそうです（2曲目からはサポートミュージシャンとして、メンバーの高橋牧さんがさまざまな楽器を演奏）。

時々自動の作品づくりを表した朝比奈さんの「現代音楽をポップス化して、パフォーミングアーツする」という言葉の意味を白井が聞くと、話は朝比奈さんが好きだというジョン・ケージや現代音楽に移ります。「現代音楽は20世紀の前衛音楽。時代との関係で考えられた人間像、社会像を音でもって表現する、対峙させる、非常に頭のいい人たちがやっていた音楽なんです。理論、言語を音として聞いたときの感覚的な面白さを、僕らのやっている音楽の中に取り入れて、面白い音楽がつかれるのでは？と思ったんです。今はまた現代音楽をベースに新たなことを考えているんですけどね……今話したことは決してアカデミックなわけじゃないですよ、いわばギャグみたいな音楽をやりたいっていうだけのこと」（朝比奈）。

さまざまな音楽的なベースが重なって美しいだけでなく独特のリズム、感覚が含まれてユーモラスでもある朝比奈さんのつくるメロディの秘密が「漠然とわかった気がします」と白井も納得したよう。



ここで朝比奈さんから、白井に出されていた2つの宿題のうち、1つ目にチャレンジしました。フランスのエリック・サティの代表作「ジムノペディ」に朝比奈さんが歌詞をつけ、白井のピアノの伴奏で歌います。人前でピアノを弾くのは3~40年ぶりとあって緊張する白井をほぐすように、「かつて白井がピアノを習っていたもののコンクールでミスしたことでピアノを止めたこと」「今日、楽屋でギリギリまで練習していたこと」を明かします。

さらに趣向を変えて『リア』のときに出演者みんなで練習した口琴を、希望するお客さんにも配ってその鳴らし方をアドバイス。すると客席に口琴の上手な方が！「一緒に演奏しましょうよ」と白井が招き入れながら、時々自動のメンバーでサポートミュージシャンの砂川佳世子さんであることを紹介します。ポヨヨヨと響いていた口琴が、朝比奈さんたちの手にかかるとシャープで軽快な音に変わりました。

そして2つ目の宿題として、『風が吹いてきたよ』を白井のピアノ、歌も含めて披露します。演奏を終え「緊張した！」とホッとした白井に「曲が走りましたね。このバンド可能性がありますよ、組んでみませんか」と朝比奈。最後まで楽しく笑いの絶えない時間はここで終了です。

「初めて知ったこともたくさんあって、本当に楽しかった」という白井の言葉で、盛りだくさんの内容だった第4回目の「SHIRAI's CAFE」は締めくくられました。

【当日の演奏曲】

- ・「君好き20年」
- ・「ボブラ」
- ・「あなた口から」
- ・「日は日に返して」
- ・「あほ口琴」
- ・「風が吹いてきたよ」